

心理

柏児童相談所



青山 祐里

Aoyama Yori

平成25年度
採用

異動経歴

H25年採用 君津児童相談所
H28年 柏児童相談所



Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

児童福祉や障害福祉、DV相談に関する事など、職務内容は多岐にわたり、様々な分野・視点で県民の暮らしを支えることができます。児童相談所では子供に関する様々な相談に対応するため、障害福祉や非行（司法）分野など幅広い知識を身に付けられるところにも魅力を感じています。

Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

児童心理司として、障害、非行、虐待など、子供に関する様々な相談に携わっています。子供と面接したり心理検査を行ったりする中で特性や心の状態を考え、他職種と連携し保護者・関係者と話し合いながら必要な支援を検討します。情緒面や対人面に何らかの難しさを抱えていた子供が、面接を重ねていくうちに成長したり、自信を持てるようになってきた姿を見ることができるとやりがいを感じます。

Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

私自身も千葉県で生まれ育ったため、愛着があります。千葉県の子供とその家族の支援がしたいと思い、千葉県で働くことを選びました。

Q4 職場の雰囲気について教えてください。

人数が多い職場ですが、協力や連携が大切な仕事なので普段からコミュニケーションが豊かで、明るく温かい雰囲気です。困りごとは職員一人が抱えないでいられるよう、先輩も同僚も相談に乗って一緒に考えてくれます。子供たちの健やかな未来のため、職員が一丸となって働いています。

Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

話を聴くことも多い仕事ですが、面接や心理検査から分かったことを保護者や関係者、子供自身に説明するなど、「伝える」場面も多いです。そのため、何のために伝えるのか、どのような内容があると今後の生活に役立ててもらえそうか、どのような資料があるとわかりやすいかを考え、相手にとって有益な伝え方ができるように心掛けています。

Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

支援を考える上で、子供の中で何が起こっていて、その背景には何があるのか、どんな支援が必要か、子供の言葉として出てきていないことや、子供自身も気づいていない思いも汲み取り想像したり代弁していく必要があるため、目に見えないものを取り扱うことの難しさを常に感じています。

Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

近年、子育て世帯に人気があります。県職員に対しても仕事と子育ての両立支援が充実しており、働きやすいです。

Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

家族との時間を過ごしています。子育て中なので、退庁後は保育園の迎えや食事の支度など家事育児に追われていますが、一段落した後は自分の趣味を楽しむこともあります。休日は家族で公園や買い物に出かけたり、友人と家族ぐるみで遊んだりもしています。

Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

児童相談所では18歳未満の子供への対応が主ですが、どのような相談に対しても、児童期だけでなく成人した後のことも考えた支援ができるようになりたいです。

Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

大変なことも多いですが、子供たちの健やかな成長を支える、やりがいのある仕事です。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

ある一日の流れをピックアップ

- 8:30 出勤・メールチェック
- 9:00 面接準備、電話対応
- 9:30 療育手帳の判定
- 12:00 昼食
- 12:45 面接準備
- 13:00 児童福祉司と打合せ
- 13:30 子供や保護者との面接
- 15:00 面接記録の作成、電話対応
- 16:00 退庁
- 17:40 保育園送迎後、帰宅

※60分の育児休暇を取得
休憩時間の特例（45分）を活用

